

健康で心豊かな地域づくり

たかす

第198号
令和3年11月20日



千種町鷹巣自治会

大豆で牛肉を

今や地球規模で取り組まなければならぬ温暖化阻止の課題。コロナ対策も勿論だけれども、コロナに対してはワクチン接種が進んで、やがて終焉の先が見えてきたように思われます。

現在、二酸化炭素やメタンガスの排出を無くす活動が国際規模で進められていることは、皆さんすでにご承知の通りでございます。例えば自動車産業にあってはガソリンに代わって電動化が、電力関係に於いては火力発電や原子力発電に代わって水力・風力・太陽光発電が。

一方、食品に関しては、例えばダイズやエンドウを使った植物由来の代替肉（牛肉）を作るとか、牛の細胞を培養して培養牛肉を作る等、脱炭素社会を目指す取組みが強力に進められております。牛肉が取り上げられ

ている理由は、牛のゲップからメタンガスが排出されるから。もともとメタンガスは有益な化学物質ですが、大気中に放出されると汚染物質に変身するわけで、これを押さえるための研究が進められている、というのです。さしあたって、私たちにできる環境保護活動は、たとえばエコドライブが。急発進とか高速運転をやめて、ゆっくりゆとりをもって走ることを心掛けるのも、一つの取組みだと言われ

鷹巣は、いま？

自治会告知板

鷹巣自治会長 村上伸和
朝晩はめっきり寒くなり、コタツやストーブの出番を迎える頃となりました。

十月の秋祭りは、神事のみは質素なものになりましたが、抽選会を実施したところ、多くの

皆様にご参加いただき、お陰様で用意しておりました景品も残らず出てしまうと言う盛況ぶりです。きつとひと時を楽しんで頂けたのではないかと喜んでおります。

最近ではコロナ感染者もずいぶん減少し、徐々にではあります。経済も動きだしたようです。早く元に戻れるよう願うばかりですが、まだまだ感染予防には十分な注意が必要かと存じます。

さて、鷹巣から大沢に抜ける道路（県道千種新宮線）の拡幅工事ですが、狭小箇所ばかりなので、常日頃県土木へ改良の要望を出しておりましたところ、この度一か所だけではありませんが、予算が取れたとのことで、施工されることとなりました。

詳細は未定ですが、わかり次第お知らせいたします。また、ゴルフ場前から小茅野へ抜ける道（大沢岩野辺線）も長らく通行止めですが、一部工事が始まるようです。

これから次第に寒くなってきますが、体調に注意して元気に過ごしてください。

活性化委員会便り

炭窯改修工事にご協力を！

活性化委員長 村上廣恭

立冬が過ぎて、いよいよ冬の気配の強まりを感じる頃となりました。皆様いかがお過ごしでしょうか、お伺いいたします。

日頃は鷹巣活性化委員会の活動にご支援ご協力を賜り有難うございます。

早速ですが、今炭窯の改修工事に取り掛かっております。

取り壊した窯の後片付け、レングなどもらい受けに山崎へ、そして炭窯の再構築と、多くの人手が必要となります。

そこで、皆様にお願したいのは炭窯の構築作業についてでございます。詳しくは後ほど自治会放送等を通してお願いいたしますので、ご協力のほど、よろしくお願いたします。

鷹巣活性化と協力隊

たかす東小宿泊所支配人

金本秀夫

秋は一段と深まり、朝夕はめっきり寒くなってきました。

活性化委員会の『学校に泊まろう』も繁忙期は終り、例年であればシーズンオフを迎えることとなりますが、今年も年末まで週末は予約をいただいております。しかも、シーズンを通しての来場者数・売上げとも過去

最高の数字を残せる見通しとなり、喜んでおります。

さて、コロナで落ち込む中、増えた要因を考えてみるのに、密集を避けた家族連れが、人口の少ない田舎を選び、野外レジャーのキャンプ場を訪れてくれたのだと考えられます。

もう一つの要因は、藤原事務長の下で頑張っている廣重・林両協力隊員の接客にあったと思います。二人ともキャンプが最大の趣味であって、これが仕事に生かせれば、お客様の身になって『おもてなし』ができる、まさにプロの接客です。協力隊員の任期は三年です。廣重君は一年七か月、林君は一年一か月が経過しましたが、どちらも鷹巣の風土や皆さんの気質が気に入って、ずっとこの地に定住したいと言ってくれております。

廣重君は千草の町内で空き家を借り受け、皆さんと交流できる場所を作りたい。林君は学校以外に、鷹巣のあちこちにキャンプ場を増やしたいと意欲的に取り組んでおります。

三年後の生活を考えたとき、他の仕事をしながらの副業にはなりません。退任後も今の『学校に泊まろう』に、ずっと携わってくださることを約束してくれて

